



せいらん

巻頭言 「スティグマ」

 医療法人サチカム会 三国丘病院 理事長
 大阪公立大学大学院生活科学研究科 客員教授

奥野 正景

先日、某所において、当院構想のプレゼンテーションを行った。そこで、選定委員会の委員より下記趣旨の質問をいただいた。「精神科と内科の患者の診察室や待合室を分けられないのか？」一瞬、質問自体に困惑したが、「内科にも精神疾患を持つ方が多く受診されており、当院でも小さなお子さんを抱えたお母さんも一緒に待合で待っているのです、その必要はない」とお答えしたが、納得いかれず「とはいえ精神科でしょ」という趣旨を言われた。他の委員からもこの発言に異議はなく、学識経験者として見識に欠けると

思われ、後日、不適切ではないかと訴えたが、精神科の患者さんのための発言だとの返答であった。この場で、何が問題かを示しておくこととする。

「スティグマ (stigma)」は、偏見や差別、また、偏見や差別で人の行動を変化させ、制限することを含む意味で使われ、自分とは関係がない集団を区別し、その集団の特徴に対して烙印を押すもので、精神疾患以外にも人種や他の健康問題などについても見られる。

パブリック・スティグマとは、人々が、特定の対象にある人に差別意識を持つことで、大きく3要素があり、1、知識（無知）は、正しい知識を持たないだけでなく、誤った情報やステレオタイプを持っていることも含む。2、態度（偏見）は、誤った固定観念に同調し、恐れ、怒るなどの否定的反応を示すこと。3、行動（差別）は、態度（偏見）に基づいて、実際に仲間内から除外する行動などを含む。



また、スティグマは当事者にも影響し、世間の風潮や差別体験を受け（知覚、経験したスティグマ）、友達付き合いや仕事を避け、自らの行動を制限してしまう（狭義のセルフ・スティグマ）。受診が遅れ、治療が中断し、就労や社会復帰が遅れる要因の一つでもある。

精神疾患の生涯有病率（一生のうちにかかる割合）は国際的には4人に1人、日本では約5人に1人（約18%）と言われ、また、その4分の3は思春期から成年早期に発症し、特に若い人にとっては、ごく身近な問題であり、誰に

でも起こりえる。精神疾患のことを考え、正しい知識や対処法を事前に得ることは、人生をより豊かにし、周囲の人を助ける。スティグマに取り組むことは、精神疾患をもつ人とその周りの人の双方、全ての人にとって重要である。世界保健機関（WHO）はスティグマに取り組む施策の必要性を訴え、世界精神医学会（WPA）は統合

失調症へのスティグマに取り組むツール開発を行っており、日本でも、メディアキャンペーンが行われ、教育プログラムやビデオ教材が開発されている。

参考) 日本人のメンタルヘルスに関する認識 2021
 小池進介ら 東京大学

●病院理念●

●基本方針●

●看護部理念●

「誠意ある明るく開かれたこころの医療」

1. 患者様の人権を尊重した誠実な態度（患者中心、主体、人権、倫理）
2. 安全で安心できる医療（医療の質、安全、安心）
3. 研鑽に励み、質の高いチーム医療（信頼、倫理）
4. 説明と同意に基づく信頼される開放的な医療（自由、開示性、インフォームドコンセント）
5. 専門知識を活かした地域の精神保健福祉への貢献（地域社会、精神保健福祉）

私達は常に患者様とご家族の立場に立って考え、その人にとって最良の看護が提供出来るように誠意と愛情のこもった看護を目指します。

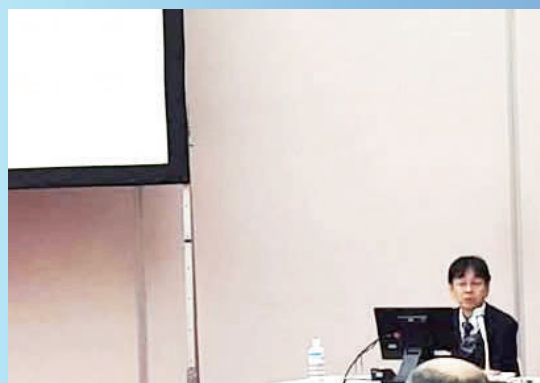

 日本医療機能評価機構
 病院機能評価認定病院

第 65 回日本児童青年精神医学会総会学会記

監修 奥野 正景

10月17日から19日まで愛媛県松山市で開催された上記学会に参加しました。奥野理事長が、日本児童青年精神科診療所連絡協議会提案シンポジウム「児童精神科診療所から見た不登校 —教育機関との連携の課題—」の司会と演者を務め、200名の会場は、立ち見が出るほどの盛況でした。

またポスター演題を二つ発表し、うち心理の遠藤末菜先生の下記の発表が総会優秀発表賞・ポスター賞を受賞しました。



演題番号 P11- 1

遠藤 末菜 (医療法人サチカム会三国丘こころのクリニック)、村嶋 隼人、上月 恵里、岩橋 多加寿、奥野 正景
「改訂版標準読み書きスクリーニング検査の臨床的な有用性について～ Wechsler 検査 FSIQ 別の比較検討から～」

日精協 永年勤続表彰

令和7年1月11日、奥野正景理事長が永年にわたり医療と福祉に尽力したとして日本精神科病院協会より表彰を受けました。

当院では奥野理事長のもと、地域社会の精神医療・保健・福祉の向上に努め、質の高いチーム医療を提供し、これからも地域の医療・福祉に貢献できるように努めてまいります。



書籍出版のお知らせ

当法人 奥野 正景 理事長が分担執筆しました書籍『発達障害なんか怖くない —「特性」を「障害」にしないために』が、日本評論社にて出版されました。発達障害を地域で長年診続けている児童精神科医の本音座談会。発達障害をリスクの一つとして、子育ての本質を平易に問いかける内容となっております。奥野理事長のエッセイも掲載されておりますので、ぜひご覧になってみてください。Amazon や楽天ブックスでもご購入いただけます。



発達障害なんか怖くない —「特性」を「障害」にしないために
(日本評論社 発売日：2024/10/23)

外来案内

Infomation & Guidance

		月	火	水	木	金	土
午前	2診	齊藤☆	河口☆	菅谷☆	菅谷☆	千頭☆	千頭(奇数週) 播摩(偶数週)
	3診	大工原*☆	千頭☆ 瀨本*	瀨本☆ 桑村*	齊藤☆ 桑村*☆	播摩☆ 角野*	瀨本(奇数週)* 大工原(偶数週)*
午後	2診	千頭☆	原口	桑村☆	平井☆	河口	齊藤☆
	3診	原口☆	瀨本☆	播摩☆	辻☆	角野☆	河口☆

☆: 予約診察。予約は外来看護窓口で承ります。

*: 薬のみ診察の方。1時間ほどで第2診察室での診察となります。

◇担当医が変更になることがあります。

◇児童精神科外来: すべて予約制

月曜午前	第3診察室	角野
火曜午後	第3診察室	瀨本
水曜午後	第3診察室	桑村・播摩
木曜午後	第2診察室	平井
金曜午後	第3診察室	角野
土曜午後	第3診察室	河口

【診察時間】 月曜～土曜 午前 9:00～12:00 (受付は 8:00～11:00)
午後 2:00～5:00 (受付は 12:00～3:30)

【休診日】 日曜、祝日、年末年始、開設記念日(1/4)

■診療科目 精神科・心療内科・神経内科・児童精神科

■開設者 理事長 奥野 正景

■管理者 院長 河口 剛

■精神科病床 144床

●昭和36年開設 ●精神科病棟 15対1

●看護師比率 70% ●看護補助加算 1

■届出・承認・併設施設等

・医療保護入院等診察料

・薬剤管理指導料 ・医療安全対策加算 2

・精神科地域移行実施加算

・精神科デイケア/ショートケア(大規模) デイケア『けやき』 ・精神科作業療法

・付属診療所: 三国丘ころのクリニック-児童精神科・精神科・心療内科 [院長 奥野 正景] 併設: 子どもショートケア「和-なごみ」

・共同生活援助グループホームえびす

・三国丘ころのケアセンター (地域生活支援部門/心理相談部門)

・けやき訪問看護ステーション

・臨床研修病院(協力型)

・清恵会医療専門学院看護学科実習施設

・財団法人医療器評価機構

病院機能評価認定病院

・新専門医制度研修群プログラム連携施設

・大阪市立大学生生活科学部

公認心理師養成実習病院

■地域精神保健活動等

●堺市: 子ども相談所非常勤医師、教育センター嘱託医、就学指導委員会委員、学校協力医、堺市嘱託産業医、医師会精神科医会・校医会理事

●大阪市: 精神保健福祉審議会委員、心身障害者リハビリテーションセンター非常勤医師、大阪市立大学生生活科学部非常勤講師(公認心理師養成)

●大阪府: 府立堺支援学校・堺聴覚支援学校校医、堺地域産業保健センターメンタルヘルス相談員、障害者職業センター南大阪支所医療助言者

●その他: 近畿大学医学部非常勤講師、近畿児童青年精神保健懇話会代表世話人、日本児童精神科・診療所連絡協議会理事、日本心身医学会代議員、日本児童青年精神医学会代議員・理事

Access & Map

病院案内

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町 1-5-1

TEL 072-233-1880

FAX 072-222-1709

URL www.mikunihill-hp.or.jp



- 南海高野線 堺東駅下車 東出口より、南東へ徒歩約5分。
- 駐車スペースが非常に少ないため、できるだけ電車等の公共交通機関をご利用ください。

プロ野球に先駆けて、Jリーグが開幕しました。神戸の3連覇となるのか、それとも別のチームが優勝するのか。12月まで毎週末が楽しみです。(編集長)

